

1. 沿革

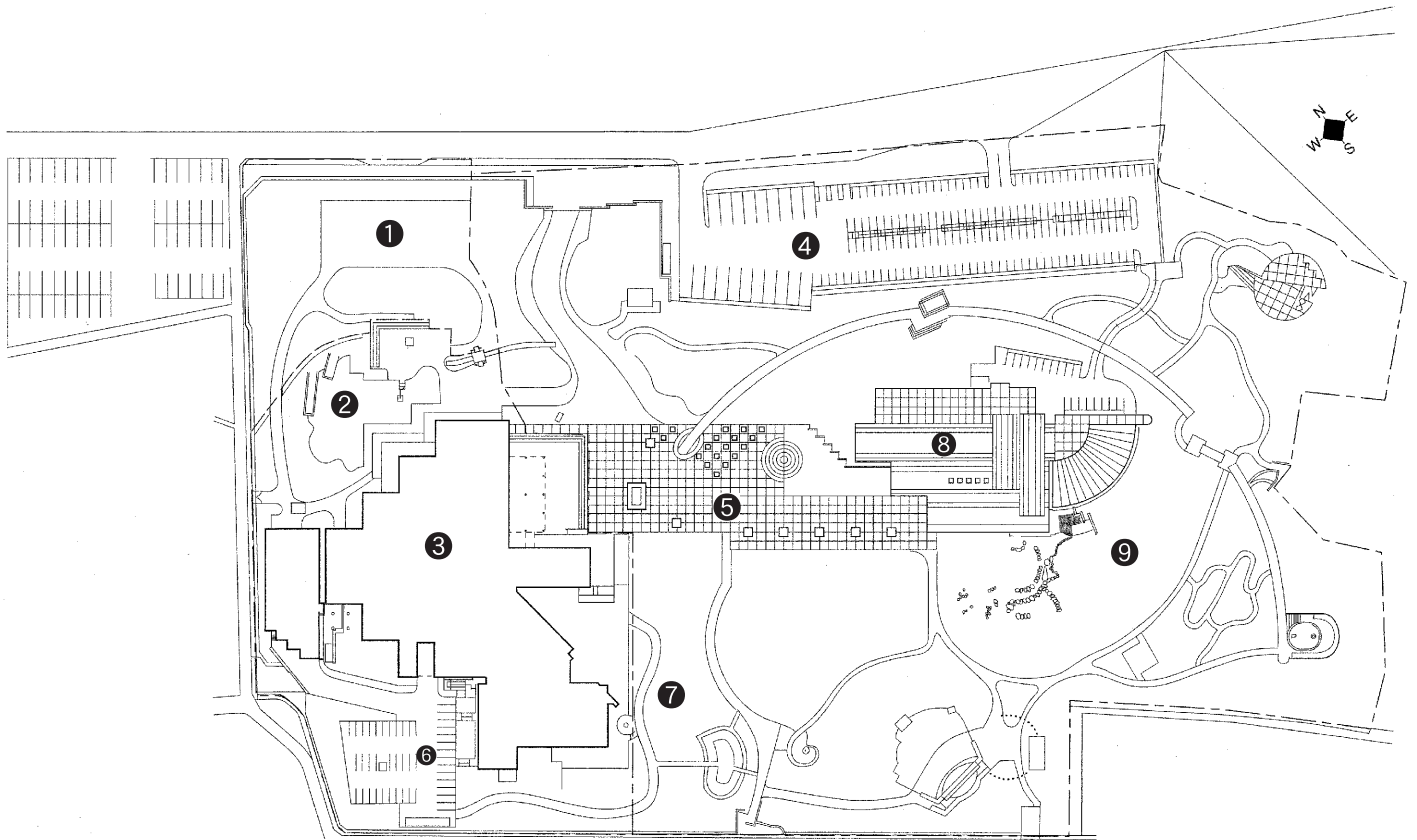
- 昭和58年 7月18日 6月定例県議会において文学館構想推進費3,178千円可決
文学館建設にその一步を踏み出した
- 11月14日 文学館構想策定懇話会設置 委員17人委嘱
- 昭和59年 1月4日 文学資料所在調査員制度発足 調査員16人委嘱
- 5月1日 文学資料選定委員6人委嘱
- 6月15日 文学館構想策定懇話会から第1回目の提言
山梨県立文学館（仮称）資料収蔵に関する提言－芥川龍之介資料について－
- 6月25日 芥川龍之介資料収蔵
- 12月3日 山梨県立文学館（仮称）に関する提言－主として、その機能と収蔵資料について－
- 昭和60年 1月23日 懇話会からの要望書－文学館建設推進に対する要望書－
- 3月29日 山梨県立文学館建設基金条例及び山梨県文学資料取得基金条例制定
- 4月1日 教育庁文化課内に文学館建設推進担当設置
- 5月1日 庁内文学館施設内容検討会設置
- 6月3日 文学資料選定委員8人委嘱
- 8月8日 芥川龍之介資料展示会開催（県立美術館にて～18日）
- 10月9日 9月補正予算、基本構想策定費3,000千円可決
- 昭和61年 1月10日 山梨県立文学館（仮称）に関する提言－主として、施設と設備について－
要望書－文学館建設地に対する要望書－
- 2月10日 山梨県立文学館建設地決定（県立美術館東側隣接地）
- 2月13日 設計業者決定、大宇根・江平建築事務所 文学館基本構想委託
- 3月20日 地質調査費2,500千円、基本・実施設計費89,000千円可決
- 5月27日 特別資料調査員10名委嘱
- 6月11日 基本設計・実施設計委託
- 昭和62年 1月16日 山梨県立文学館建設懇話会16名委嘱
- 7月9日 建設工事費2,846,269千円可決（62年度～64年度継続事業）
- 62年度 780,514千円
- 63年度 1,925,182千円
- 64年度 140,573千円
- 10月8日 建設工事契約
- 10月13日 展示設計委託
- 11月2日 起工式
- 昭和63年 4月1日 教育庁に文学館建設準備室設置
- 平成元年 4月1日 山梨県立文学館設置
初代館長に三好行雄氏（東京大学名誉教授）就任
山梨県立文学館設置及び管理条例、山梨県立文学館処務規程施行
山梨県立文学館協力員設置要綱制定
- 5月18日 山梨県立文学館へ事務局移転
- 9月29日 山梨県立文学館協議会設置 委員15人委嘱
- 10月16日 文学館シンボルマーク制定
- 10月17日 文学館協力会設立
- 11月1日 山梨県立文学館設置及び管理条例施行規則施行
山梨県立文学館の設備器具の使用料の額を定める規則施行
- 11月2日 山梨県立文学館開館記念式典挙行
「芸術の森公園」竣工
- 11月3日 山梨県立文学館オープン
開館記念展「山梨の文学」（～2月18日）
- 平成2年 4月1日 山梨県立文学館専門委員会要綱制定
文学館専門委員会設置 委員7人委嘱
- 4月28日 「書簡の文学」－手紙にみる作家の素顔－（～6月24日）
- 5月20日 三好行雄館長逝去
- 5月24日 三笠宮殿下、三笠宮妃殿下御来館
- 5月25日 川手千興教育長 館長事務取扱
- 8月11日 観覧者数10万人に達す
- 10月13日 「樋口一葉の世界」（～11月18日）

- 平成3年3月2日 紅野敏郎氏（早稲田大学名誉教授）館長に就任
4月27日 「旅の文学－山梨の自然と人－」（～6月2日）
7月25日 博物館登録
10月5日 「生誕百年記念 芥川龍之介展」（～12月1日）
10月26日 観覧者数20万人に達す
- 平成4年4月1日 やまなし文学賞制定
4月25日 「与謝野晶子と明星」（～6月7日）
10月3日 「飯田蛇笏展 没後30年」（～12月6日）
- 平成5年3月20日 観覧者数30万人に達す
3月23日 第1回やまなし文学賞表彰式
4月1日 組織一部改正
4月24日 「現代の女性作家」（～6月13日）
- 平成6年3月23日 第2回やまなし文学賞表彰式
4月23日 「山崎方代展」（～6月26日）
10月1日 「中村星湖展」（～12月4日）
12月10日 「近代文学とミレー展」（～2月19日）
- 平成7年1月14日 観覧者数40万人に達す
3月23日 第3回やまなし文学賞表彰式
4月29日 「井伏鱒二 風貌・姿勢」（～7月16日）
9月30日 「青い夜道の詩人 田中冬二展」（～11月20日）
- 平成8年3月23日 第4回やまなし文学賞表彰式
4月20日 「宇野千代の世界」（～5月26日）
7月20日 「龍之介・牧水・普羅と八ヶ岳－北巨摩の文学－」（～11月4日）
7月25日 観覧者数50万人に達す
- 平成9年3月25日 第5回やまなし文学賞表彰式
4月26日 「前田晁・田山花袋・窪田空穂－雑誌『文章世界』を軸に－」（～6月29日）
10月4日 「二十一世紀への架橋 現代歌人の宴」（～12月7日）
- 平成10年3月25日 第6回やまなし文学賞表彰式
4月1日 組織一部改正
山梨県立文学館処務規程一部改正
4月25日 「画文交響－飯田蛇笏をめぐる画人たち－」（～6月28日）
10月3日 「曲軒・山本周五郎の世界－読者の支持を賞とした作家－」（～12月6日）
11月13日 観覧者数60万人に達す
- 平成11年3月25日 第7回やまなし文学賞表彰式
4月10日 「やまなし・女性の文学－樋口一葉・李良枝・津島佑子・林真理子を軸に－」（～6月13日）
7月23日 山梨県立文学館設置及び管理条例一部改正
10月3日 「山梨の文学－21世紀へ－」（～12年1月30日）
11月3日 開館10周年記念式典挙行
- 平成12年3月24日 第8回やまなし文学賞表彰式
4月23日 「画文交響－明治末期から大正中期へ－」（～6月25日）
9月30日 「太宰治と檀一雄」（～12月3日）
- 平成13年3月23日 第9回やまなし文学賞表彰式
4月28日 「夏目漱石展－木曜日を面会日と定め候－」（～7月1日）
9月29日 「富士百景－その文学と美－」（～12月2日）
- 平成14年3月19日 第10回やまなし文学賞表彰式
4月27日 「芭蕉展－月日は百代の過客にして－」（～6月2日）
5月5日 観覧者数70万人に達す
9月28日 「松本清張と木々高太郎『推理小説』開拓の歩み」（～12月1日）
- 平成15年3月19日 第11回やまなし文学賞表彰式
4月26日 「中里介山『大菩薩峠』の世界」（～6月29日）
9月27日 「文士の友情 芥川龍之介と菊池寛・久米正雄」（～11月30日）
- 平成16年3月17日 第12回やまなし文学賞表彰式
7月3日 「樋口一葉展Ⅰ われは女なりけるものを－作品の軌跡－」（～8月22日）
10月2日 「樋口一葉展Ⅱ 生き続ける女性作家－一葉をめぐる人々」（～12月5日）
- 平成17年3月16日 第13回やまなし文学賞表彰式
3月31日 紅野敏郎氏館長を退任

- 4月1日 近藤信行氏館長に就任
芸術の森公園の管理が峡中地域振興局建設部より移管になる
- 4月29日 『『赤い鳥』と『少年倶楽部』の世界』（～6月26日）
- 9月23日 「山の文学展 ー日本人 美とところのふるさとー」（～11月27日）
- 11月20日 観覧者数80万人に達す
- 平成18年3月17日 第14回やまなし文学賞表彰式
- 4月29日 「辻邦生展」（～6月25日）
- 9月23日 「正岡子規とその時代」（～11月23日）
- 平成19年3月14日 第15回やまなし文学賞表彰式
- 4月28日 「高村光太郎展 ーいのちと愛の軌跡ー」（～6月24日）
- 9月29日 「宮沢賢治 若き日の手紙 ー保阪嘉内宛七十三通ー」（～11月25日）
- 平成20年3月18日 第16回やまなし文学賞表彰式
- 4月26日 「芥川龍之介の手紙 ー敬愛する友 恒藤恭へー」（～6月22日）
- 9月19日 観覧者数90万人に達す
- 9月27日 「飯田龍太展」（～11月24日）
- 平成21年3月18日 第17回やまなし文学賞表彰式
- 4月1日 指定管理者制度を導入
指定管理受託事業者 S P S ・ 桔梗屋グループ
- 5月2日 「太宰治展 生誕100年」（～6月28日）
- 9月19日 「樋口一葉と甲州」展（～11月23日）
- 12月2日 「収蔵名品展」（～平成21年2月28日）
- 平成22年2月2日 常設展示室リニューアルオープン、飯田蛇笏・飯田龍太記念室開設
- 3月16日 第18回やまなし文学賞表彰式
- 5月1日 「山崎方代展 右左口はわが帰る村」（～6月27日）
- 7月25日 「くじらぐもからチックタックまで ー小学校国語教科書にのった思い出のお話し原画展ー」（～8月29日）
- 9月18日 「井伏鱒二と飯田龍太 往復書簡 その四十年」（～11月23日）
- (平成23年3月25日) 第19回やまなし文学賞表彰式（東日本大震災による影響により中止）

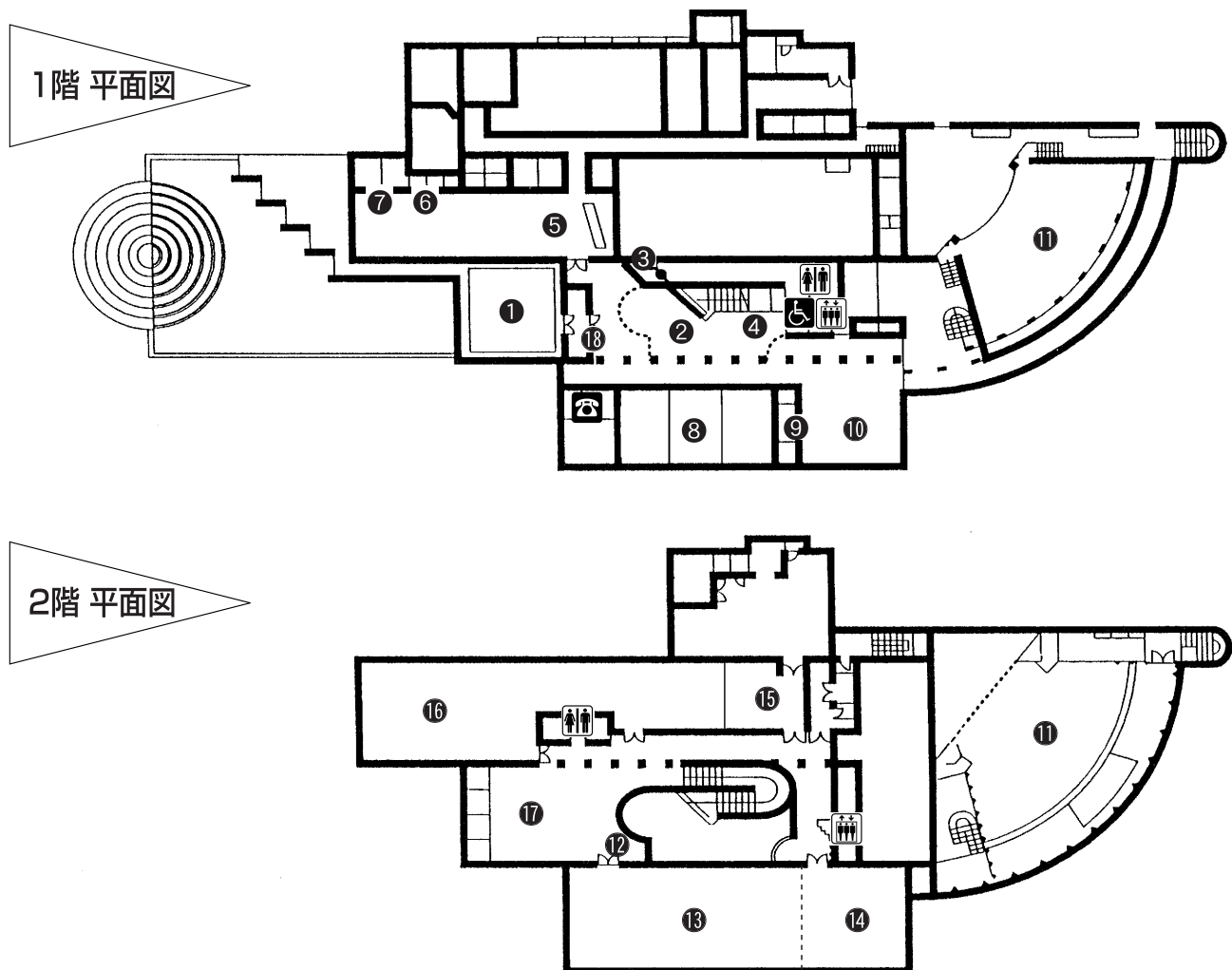
2. 施設の概要

(1) 「芸術の森公園」 略図



- | | |
|----------------|--------------------------------------|
| ① 野外展示場 | Open-air Exhibition Space |
| ② 北池 | North Pond |
| ③ 美術館 | Museum of Art |
| ④ 第一駐車場 | The First Parking Lot |
| ⑤ プラザ (さんさん広場) | Plaza named “Sansanhiroba” |
| ⑥ 第二駐車場 | The Second Parking Lot |
| ⑦ プロムナード | Promenade |
| ⑧ 文学館 | Museum of Literature |
| ⑨ 南池 (ふみの池) | South Pond named “Fumi no ike” |
| ⑩ 日本庭園 | Japanese Garden |
| ⑪ 屋外研修施設 | Open-air Theater |
| ⑫ バラ園 | Rose Garden |
| ⑬ ポタン園 | Peony Garden |
| ⑭ 茶室 (素心庵) | Tea Ceremony Arbor named “Sosinnann” |
| ⑮ 第三駐車場 | The third Parking Lot |

(2) 「文学館」 平面図



- ① 正面入口
- ② エントランスホール
- ③ 総合案内
チケット売場
施設利用受付
- ④ 売 店
- ⑤ 閲覧室
- ⑥ 個人研究室
- ⑦ 共同研究室
- ⑧ 研修室

- ⑨ 喫茶室
- ⑩ ロビー
- ⑪ 講 堂
- ⑫ 常設展受付
- ⑬ 常設展示室
- ⑭ 飯田蛇笏・龍太記念室
- ⑮ 常設展示室
- ⑯ 企画展示室
- ⑰ 2階ロビー
- ⑱ ロッカー

-  エレベーター
-  トイレ
-  身障者用トイレ
-  電話

- 構 造 鉄筋コンクリート造り
地下1階、地上2階、一部3階
- 規 模 建築面積 3,258㎡
延床面積 6,168㎡

- 工 期 昭和62年11月～平成元年3月
- 建設事業費 28億4,626万9千円

(3) 建物用途別面積表

室名	室数	階層	延面積㎡	室名	室数	階層	延面積㎡
管 理 部 門			1,954.50	講 堂 客 席	1	H	483.92
館 長 室	1	1	38.57	講 堂 舞 台	1	H	117.04
応 接 室	1	1	33.60	講 堂 控 室	2	H	27.68
事 務 室	2	1	223.74	講堂コントロール室	1	H	26.90
会 議 室	1	1	42.43	そ の 他	—	—	79.36
印 刷 室	1	1	14.40	資 料 保 存 部 門			661.32
写 真 ・ 暗 室	3	2	41.61	収 蔵 庫	1	2	235.14
く ん 蒸 室	1	1	16.64	収 蔵 庫 前 室	1	2	13.54
湯 沸 室	1	1	6.00	書 庫	1	1	412.64
控 え 室	1	1	11.08	共 同 部 門			1,160.77
整 理 室	1	1	97.54	エントランスホール	—	—	266.90
荷 解 室	1	1	48.26	ロ ビ ー	—	—	397.02
警 備 員 室	3	1	18.09	講堂ロビー、ホワイエ	—	—	320.25
監 視 員 室	1	2	11.85	喫 茶 厨 房 等	2	1	44.20
清 掃 員 室	1	B	4.50	給 湯 室	1	1	3.60
清 掃 用 具 室	1	1	2.60	ロ ッ カ ー 室	1	1	8.55
倉 庫	3	H	17.14	協 力 員 控 室 等	2	1	24.40
監 視 員 室	1	R	15.72	客 用 便 所	5	1	71.45
機 械 室	2	BR	553.96	客 用 便 所	3	2	24.00
電 気 室	1	R	86.68	売 店	—	1	24.00
ハロンボンベ庫	1	R	21.00				
エレベーター機械室	2	1	14.52				
そ の 他	—	—	634.57				
展 示 部 門			1,172.43				
展 示 室 (北)	1	2	520.33				
展 示 室 (南)	1	2	478.66				
展 示 準 備 室	1	2	173.44	※凡例 H：講堂 B：地階 R：屋階			
閱 覧 部 門			293.61	各 階 別			計
閱 覧 室	1	1	246.55	3 階			556.76
ビデオブース	2	1	12.16	2 階			2,290.24
個 人 研 究 室	2	1	7.36	1 階			3,098.20
共 同 研 究 室	2	1	27.54	地 階			222.99
教 育 部 門			925.56				
研 修 室	1	1	159.03				
備 品 庫	1	1	31.63	合 計			6,168.19